

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 3月 29日

事業所名 児童デイサービスBridge

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関入口に段差があり、バリアフリー対策を今後検討致します。現段階でバリアフリー化が必要な児童の利用がありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		賞与前の面談シートに各従業員の目標や改善点などを記入させ、PDCAサイクルを利用して課題がクリア出来るよう促している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現時点では第三者の評価を受けておりませんので、今後の課題とします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			日々児童たちが来所する前に、シュミレーションやミーティングを行い、その中に実技の研修も取り入れている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			コロナの影響もあり、月をまたぐこともありましたが、モニタリングを行い、計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月の行事予定を季節に合わせた創作活動や、個々の児童ニーズに合わせた療育を取り組んでおります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼、その他ミーティングで本日の流れや児童の支援について打ち合わせを行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			介護ソフトを利用し、正しく記録を行っております。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			コロナの影響もあり、月をまたぐこともありましたが、モニタリングを行い、計画を作成している	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者、および従事する職員をカンファレンスに同席させている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		各児童の保護者様からのご協力や、各学校のホームページを確認し、送迎時のトラブルが生じないよう徹底している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現段階では対象児童がおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		多機能型で就労を運営しておりますので、全スタッフが支援内容を把握しております。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近くの公園で遊ぶことが出来るように心がけ、健常者の児童に対しても声掛けなどを行い、障がい児の理解を促しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様からご自宅に戻られるまでに不安な様子などがあった場合は、途中経過の報告等をLINEを活用し行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	その場を設けて行っておりませんが、送迎時に各従業員から上がってきた保護者様からの悩みを解決出来るよう指導はしております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時に悩みや相談に対して、早急な対応が行えるよう、LINE、電話連絡、直接事業所内での相談業務も行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	そのようなニーズが上がってこない為、現時点では行っておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		電話連絡を入れた上で、必ずその日中に解決できるよう心掛けております。また、直接の会話が必要な場合は管理者が送迎車に同乗し直接対話で解決しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	現段階では会報等での連絡体制は取っておりません。
	35	個人情報に十分注意している	○		従業員へ周知徹底しており、LINE等での情報共有についても注意しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナの影響により、行事を行うことが出来ませんでした。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		全保護者への情報開示が行えていないので、書面にして早急に配布していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		予定していた日程にコロナ感染者が増加し、訓練を行うことができませんでした。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現時点で、他社で身体拘束されている児童でも従業員の人数を増やし、身体拘束をしないような運営体制を取っているため、該当者はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット共有ファイルを作成し、ミーティング等でも対策等を話している。